物価高騰に見合う年金額引き上げ

物価上場を上回る大幅賃上げ

社会保障・社会福祉の拡充

1・12 春闘宣言行動

全労連は、１月12日11時から厚労省前で「2023年春闘闘争宣言行動」を実施し500人が参加しました。春闘共闘委員の代表のあいさつのあと、全労連の黒澤幸一事務局長が行動提起を行い、年金者組合など４団体が決意表明を行いました。

年金者組合の杉澤隆宜委員長は「軍拡・増税ではなく物価高騰に見合う年金額引き上げをはじめとする社会保障の充実」を訴え、「高齢者と現役世代を分断する政府の宣伝を打ち破り、連帯してたたかう」と、決意表明を行いました。その後、経団連前まで「物価高騰に見合う年金額引き上げ」「物価上場を上回る大幅賃上げ」「社会保障・社会福祉の拡充」を求めデモ行進を行いました。

日本経団連前では、国民春闘共闘代表で全労連議長の小畑雅子さんが主催者挨拶を行い、経団連に対し「内部留保を、賃金引き上げをはじめ社会に還元しろ」と訴えました。決意表明では医労連の代表が最賃音頭を披露し集会を盛り上げました。「2023年・春闘闘争宣言（案）」を参加者全員の拍手で確認し、経団連に向け「大企業は内部留保を賃上げに回せ」と力強くシュプレヒコールを唱和し、行動を締めくくりました。